

平成26年度 学校評価評価票

北海道北見緑陵高等学校

平成26年度の重点目標

- (1) 確かな学力の向上及び生徒の自己実現に向けた進路指導の充実
- (2) 積極的な生き方のできる人間の育成
- (3) 生徒指導を通じた安心安全な環境づくり
- (4) 協働体制の確立による全校一致した教育活動の推進

C 評価の低い項目

B 評価の高い項目

【内部評価】本校教職員による評価については、各々A～Dで示した。
 A：十分である B：おおむね十分である C：やや不十分である
 D：不十分である

【学校関係者評価】
 A：適切
 B：ほぼ適切
 C：やや不適切
 D：不適切

評価対象	評価項目		自己評価			学校関係者評価		
			達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	
教育目標 経営方針	1	本校の教育目標は、生徒や保護者・地域の方々の実態を踏まえたものか	B	B	1 学校評価等のアンケートの適切な活用と情報発信の充実	B	B	
	2	学校の教育目標や経営方針を具現化するという意識のもと日常的教育活動が行われているか	B	B	2 学校課題の共有と協働、報告・連絡・相談の徹底			
	3	生徒・保護者・地域の期待に応え、夢を叶える事ができる活力と魅力にあふれる学校であるか	B	B	3 学校評価の結果を適切に活用した教育活動の工夫・改善			
	4	伝統を継承しつつ改革を目指す、地域に開かれた学校であるか	B	B	4 授業公開の方法の工夫・改善と教育活動の公開の推進			
ご意見・ご要望	様々な機会を捉え教育活動の様子をより一層発信するよう努めてほしい。							
学習指導	5	フィールド指定科目・共通選択科目の見直しを図れたか	C	B	5 各フィールドの特色を明確にする教育課程の工夫と見直しを検討	B	B	
	6	家庭学習の意欲喚起が効果的になされていたか	C	B	6 「学ぶ意義」を理解させる取組の充実と「わかる授業」に向けた教科内研修の充実			
	7	授業公開の実施と興味関心を持たせる指導が授業で実施されたか	B	B	7 教務部主体による授業公開週間の継続と組織的な教科指導力向上に向けた研修の実施			
	8	授業評価の結果に関する分析と校内研修の実施が適切か	C	C	8 適切な分析結果の提供と授業改善に向けた組織的な取組の充実			
ご意見・ご要望	授業公開の機会を増やすことで先生方にもよい刺激となると思うので、次年度以降も継続してほしい。							
生徒指導	9	企画・立案段階における生徒の主体的参加が行われていたか	B	C	9 生徒の自主性・主体性を育てる取組（生徒会活動）の充実	B	B	
	10	生徒の長所や特徴を生かすための指導がなされていたか	B	B	10 個人面談による生徒理解の充実と情報の共有化の促進			
	11	生徒が自分の役割を果たし、相互に協力して活動する過程で好ましい人間関係が築かれたか	B	B	11 自己理解の深化とコミュニケーション能力向上を図る取組の充実			
	12	学校いじめ防止基本方針が適切に活用され、学校評価に位置づけたか	B	B	12 本校の「学校いじめ防止基本方針」（いじめ防止全体計画）にもとづいた取組の充実			
ご意見・ご要望	生徒たちが楽しく学校生活を送ることのできる学校づくりのために尽力してほしい。							
進路指導	13	進路調査、進路相談が卒業後の将来を展望する支援・指導になっていたか	B	B	13 教育活動全体における一貫性のあるキャリア教育の充実	B	B	
	14	卒業後の進路に関して、家庭との連携が十分行われていたか	B	B	14 三者面談の実施と家庭との連携の強化			
	15	講習受講者の志望校、難関校の合格状況等の情報を職員で共有化したか	B	B	15 進路希望の的確な把握と情報提供の工夫			
	16	インターンシップ等の就職準備や、面接指導は入念に行われたか	B	B	16 インターンシップの充実と組織的な面接指導の工夫			
ご意見・ご要望	進路結果はすばらしい結果であると思う。生徒の進路実現のためにも今後とも先生方の力添えをお願いしたい。							
健康安全指導	17	各種体育行事や部活動を通して、心身共に調和のとれた発達を図られたか	B	B	17 行事・部活動の活性化と様々なボランティア活動の充実	B	B	
	18	各種防災訓練・講話を通して生徒の安全意識を高めたか	B	B	18 避難訓練の年間2回以上の実施と防災教育の充実			
	19	支援を必要とする生徒情報を関係機関と共有し、早期の対応に努めたか	B	B	19 特別支援に関する研修の実施と専門家・関係機関との連携			
	20	保健だより等の発行や連絡相談により、家庭や関係機関等との連携が十分行われていたか	B	B	20 保健だよりの発行継続による啓発の促進			
ご意見・ご要望	さまざまなボランティア活動を体験できるよう工夫してほしい。							

評価分野	評価項目		自己評価			学校関係者評価		
			達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	
信頼される学校づくり	21	学校だよりの発行やホームページで生徒の学びや教員の熱意を発信したか	B	B	21 H P の適切な更新と積極的な活用	B	B	
	22	地域や保護者の意見を傾聴し、要望や依頼に適切に対応したか	B	B	22 傾聴と丁寧な対応の継続			
	23	学校評価の結果を受け、教育活動改善への適切な活用がなされたか	B	B	23 適切な評価項目の設定と評価結果の適切な活用の継続			
	24	学校教育に対する説明責任と結果責任を果たしているか	B	B	24 保護者会等あらゆる機会を活用した本校の教育活動の周知			
ご意見・ご要望	地域から信頼される学校づくりを今後も進めてほしい。							
組織運営	25	教職員の意志疎通が図られ、風通しの良い職場となっているか	B	B	25 良好な職場環境の維持と報告・連絡・相談の徹底	A	A	
	26	4間口完成に向けて、PDCAが十分機能していたか	C	C	26 分業業務の効率的な実施と見直し			
	27	個人のアイデアを活かしつつ意見を出し合い組織を通して仕事をしていたか	B	B	27 学校課題の共有と協働による学校運営			
	28	管理職からの適切な情報提供と指導助言が十分行われていたか	B	B	28 日常的な観察・コミュニケーションと効果的な指導助言			
ご意見・ご要望	間口が少なくなり大変な状況もあるだろうが、生徒のために先生方の活躍を期待している。							
教職員の資質向上	29	今日的課題の解決に向け、校内研修や授業評価が行われたか	B	B	29 計画的な研修の奨励と生徒による授業評価の分析・活用	B	B	
	30	教育公務員としての自覚を持ち、不祥事を防ぐ意識を持ったか	B	B	30 教育公務員としての意識向上に向けた効果的な職場研修の実施			
	31	シラバスの活用を図り、授業の改善工夫がなされたか	B	B	31 生徒用「学習の手引き」の有効活用			
	32	服務規律の保持に関する情報提供を活かし事故防止に努めていたか	B	B	32 服務違反事例の効果的な活用と日常の声かけ			
ご意見・ご要望	生徒が目標を持って積極的な活動を支援するためにも一層の資質向上を図るよう研修を継続してほしい。							
いじめの問題	33	いじめの未然防止に向けて生徒を指導をしたか	B	B	33 毎月の「いじめ確認の日」の有効活用と人権教育の充実	B	B	
	34	いじめの早期発見のために生徒の様子を日常的に観察し情報の共有を図ったか	B	B	34 個人面談・教育相談の充実と緊密な教職員間の情報共有の継続			
	35	いじめの発生に対して、学校全体で早期対応する体制が確立しているか	B	B	35 いじめ防止対策委員会による組織的な取組の強化			
	36	地域、保護者とともにいじめの根絶に向けた取組をしているか	B	B	36 保護者および関係機関との連携の強化			
ご意見・ご要望	いじめのない学校づくりのためにも力を入れて取り組んでほしい。							

学校評価（自己評価）アンケートの分析

1 自己評価（教職員）

(1) 全体的な概況は、達成状況（達成度）、取組の適切さ（取組度）ともに「B・おおむね十分である」（達成度 2.8、取組度 2.9）となっている。

(2) 評価の高い項目（評価Bのうち3.2以上のもの）は次のとおりとなっている。

ア「達成度」

- ①健康安全指導 「各種体育行事や部活動を通して、心身共に調和のとれた発達が図られた」（3.2）
- ②健康安全指導 「保健だより等の発行や連絡相談により、家庭や関係機関等との連携が十分行われていたか」（3.2）
- ③教職員の資質向上 「教育公務員としての自覚を持ち、不祥事を防ぐ意識を持ったか」（3.2）
- ④教職員の資質向上 「服務規律の保持に関する情報提供を活かし事故防止に努めていたか」（3.3）
- ⑤いじめの問題 「いじめの未然防止に向けて生徒を指導をしたか」（3.2）

イ「取組度」

- ①生徒指導 「学校いじめ防止基本方針が適切に活用され、学校評価に位置づけたか」（3.2）
- ②健康安全指導 「各種体育行事や部活動を通して、心身共に調和のとれた発達が図られた」（3.2）
- ③健康安全指導 「保健だより等の発行や連絡相談により、家庭や関係機関等との連携が十分行われていたか」（3.2）
- ④教職員の資質向上 「教育公務員としての自覚を持ち、不祥事を防ぐ意識を持ったか」（3.3）
- ⑤教職員の資質向上 「服務規律の保持に関する情報提供を活かし事故防止に努めていたか」（3.4）
- ⑥いじめの問題 「いじめの未然防止に向けて生徒を指導をしたか」（3.2）

(3) 評価の低い項目（評価C）は次のとおりとなっている。

ア「達成度」

- ①学習指導 「フィールド指定科目・共通選択科目の見直しを図れたか」（2.5）
- ②学習指導 「家庭学習の意欲喚起が効果的になされていたか」（2.2）
- ③学習指導 「授業評価の結果に関する分析と校内研修の実施が適切か」（2.3）
- ④組織運営 「4間口完成に向けて、PDCAが十分機能していたか」（2.4）

イ「取組度」

- ①学習指導 「授業評価の結果に関する分析と校内研修の実施が適切か」（2.3）
- ②生徒指導 「企画・立案段階における生徒の主体的参加が行われていたか」（2.5）
- ③組織運営 「4間口完成に向けて、PDCAが十分機能していたか」（2.4）

(4) 評価A（十分である）の回答が0名の項目

ア「達成度」

- ①学習指導 「家庭学習の意欲喚起が効果的になされていたか」
- ②組織運営 「4間口完成に向けて、PDCAが十分機能していたか」

イ「取組度」

- ①生徒指導 「企画・立案段階における生徒の主体的参加が行われていたか」
- ②組織運営 「4間口完成に向けて、PDCAが十分機能していたか」

(5) 評価D（不十分である）と回答した人数が10%（4名）以上の項目

ア「達成度」

- ①学習指導 「家庭学習の意欲喚起が効果的になされていたか」（4）
- ②進路指導 「講習受講者の志望校、難関校の合格状況等の情報を職員で共有化したか」（4）

イ「取組度」

- ①進路指導 「講習受講者の志望校、難関校の合格状況等の情報を職員で共有化したか」（4）